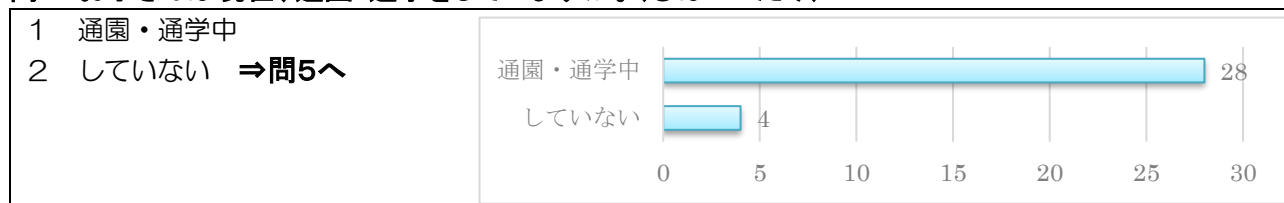


# 障がい福祉についての意識調査（児童/保護者）集計結果

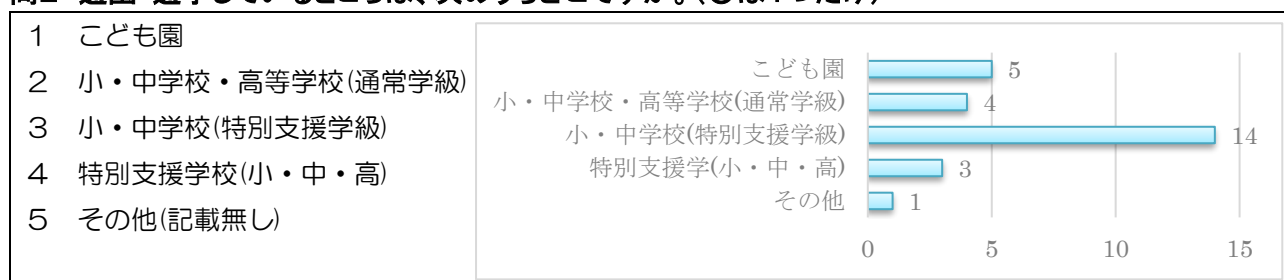
配付数 43 回収数 32 回収率 74.4%

## 教育・就学について

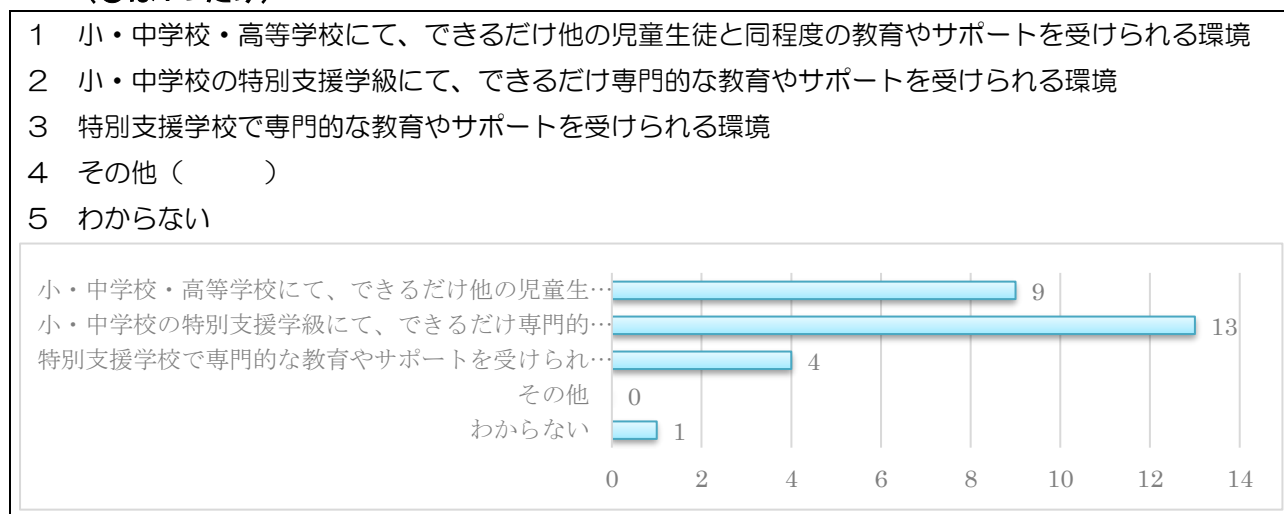
問1 お子さんは現在、通園・通学をしていますか。（〇は1つだけ）



問2 通園・通学しているところは、次のうちどこですか。（〇は1つだけ）



問3 支援が必要な児童生徒の就学環境として望ましいと思うものは、次のどれですか。（〇は1つだけ）

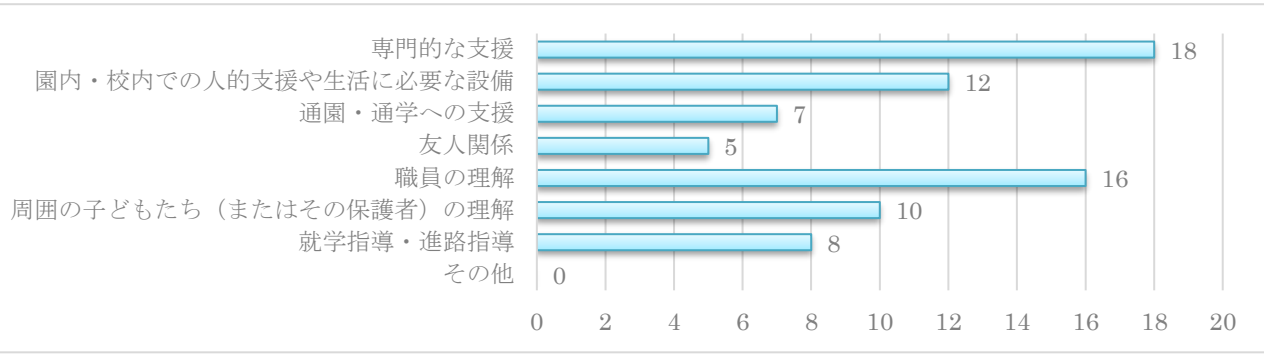


### 【考察】

特別支援教育にて、教職員の専門性向上が多く望まれています。また、サポートを受けられる環境としては、医療、保健、福祉、労働などの関係機関との連携で広域的な町のネットワークシステムの構築が今後の課題としてあげられます。二番目に多く望まれた他の児童生徒と同程度の教育やサポートを受けられる環境では、合理的配慮（障がいのある子どもが他の子どもと平等に教育を受けるために、学校側が必要かつ適当な変更、調整を行うこと）の理解を促し、特別支援教育が充実していくことで、インクルーシブ教育（多様な子どもたちが一緒に学び仕組み）の推進につながっていくものと考察します。

問4 こども園や学校等での生活を送るうえで、さらに充実が必要だと思うのは、次のどれですか。（〇は3つまで）

- 1 専門的な支援
- 2 園内・校内での人的支援や生活に必要な設備
- 3 通園・通学への支援
- 4 友人関係
- 5 職員の理解
- 6 周囲の子どもたち(またはその保護者)の理解
- 7 就学指導・進路指導
- 8 その他( )



【考察】

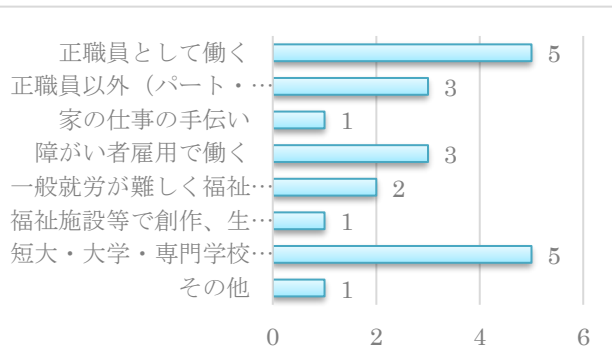
障がいや配慮を必要とする子どもたちが安心してこども園や学校生活を送るためには、専門的な支援を望む声が一番多く、次いで職員の理解を求めたいという結果でした。町では年に数回、発達支援研修会を計画し、こども園の保育教諭や学校教職員へ案内を出して、学習する機会をつくっています。今後も町の発達支援研修会は継続して行っていきます。

## 進路・就労について

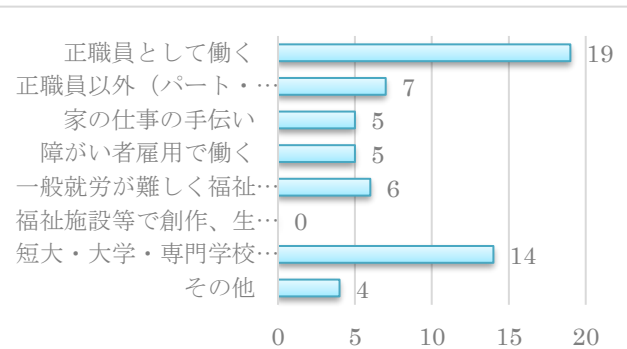
問5 お子さんは、将来(高等学校などを卒業後)、日中をどのように過ごしたいと考えていますか。また、保護者の方はどのように過ごしてほしいとお考えですか。(お子さんの意向がわからない場合は空欄のままかまいません。○はいくつでも可)

- 1 正職員として働く
- 2 正職員以外(パート・アルバイト、嘱託、派遣など)として働く
- 3 家の仕事の手伝い
- 4 障がい者雇用で働く
- 5 一般就労が難しく福祉サービス(作業所等)を利用して働く
- 6 福祉施設等で創作、生産的活動をする
- 7 短大・大学・専門学校などに通う
- 8 その他(自分のやりたいこと、夢を叶える絵描き、まだ全くわからない、ワーキングホリデー)

【お子さんの意向】



【保護者の意向】



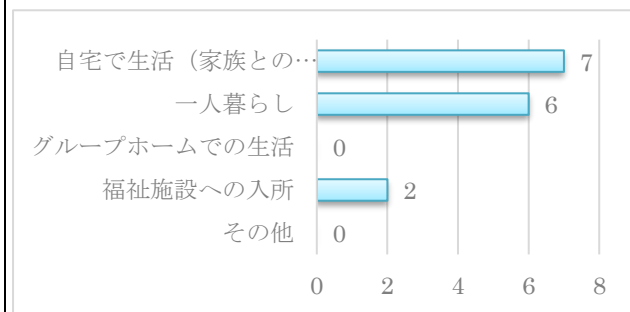
【考察】

将来（高等学校などを卒業後）、就職する場合は正職員として働くという親子の意向が一番多かったです。また、次いで多かったのは短大・大学・専門学校などに通うという進学への考えも親子で一致していました。就職や進学した際には、バーステブックのサポートシートを活用して、子どもの特性を関係者に知ってもらい、まわりへの理解を求め、必要なときに支えと配慮を得ることができると良いと考えます。

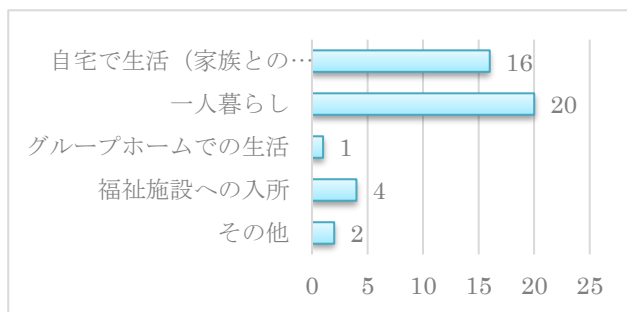
問6 お子さんは将来（高等学校などを卒業後）、どのような暮らしをしたいと考えていますか。また、保護者はどのような暮らしを希望していますか（お子さんの意向がわからない場合は空欄のままかまいません。〇はいくつでも可）。

- 1 自宅で生活（家族との暮らし）
- 2 一人暮らし
- 3 グループホームでの生活
- 4 福祉施設への入所
- 5 その他（シェアハウス、仲間との暮らし、まだ分からない）

【お子さんの意向】



【保護者の意向】

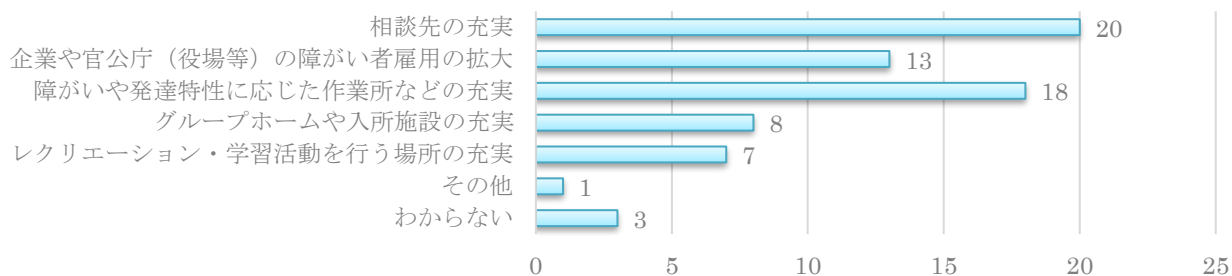


【考察】

自宅での生活（家族との暮らし）や一人暮らしをイメージしている親子が多かったです。その他では、シェアハウスや仲間との暮らしを希望する保護者の方もいました。グループホームでの生活という選択肢もありましたが、町内に身近なグループホーム等はなく、生活環境がイメージできなかったことが推察されます。

問7 学校教育修了後の社会参加に関し、どのような福祉施策が充実するべきだと思いますか。（〇は3つまで）

- 1 相談先の充実
- 2 企業や官公庁（役場等）の障がい者雇用の拡大
- 3 障がいや発達特性に応じた作業所などの充実
- 4 グループホームや入所施設の充実
- 5 レクリエーション・学習活動を行う場所の充実
- 6 その他（記載無し）
- 7 わからない



【考察】

相談先の充実、障がいや発達特性に応じた作業所などの充実を求める意見が全体の7割を占めていました。今後も各年代において、支援が途切れないように子ども発達支援センター（きずな園）、障がい者相談支援事業所等が連携し、つながりのある相談窓口の充実を図っていきます。

## 福祉サービスについて

問8 現在、利用している福祉サービスおよび今後利用したい福祉サービスについて、あてはまるもの全てに○をつけてください。

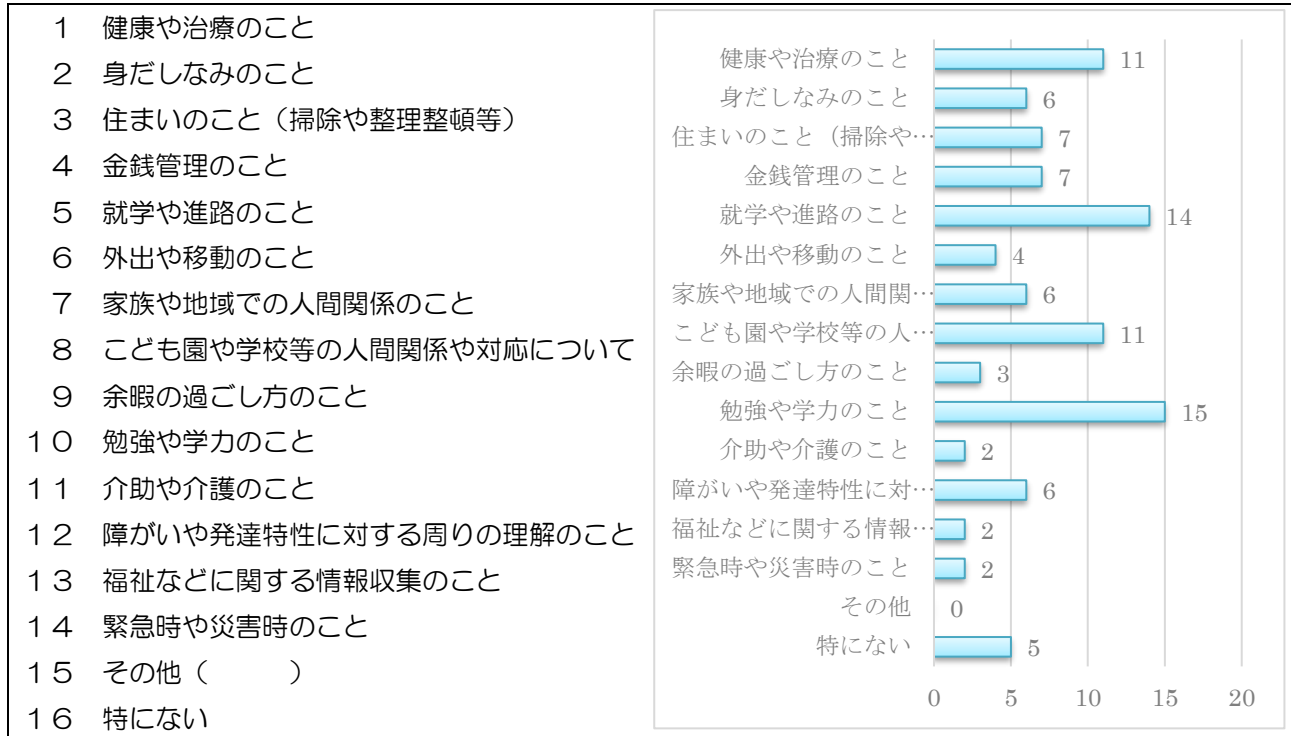
区 分		1 現在の利用	2 今後の利用希望
相談系	<b>①障害児相談支援事業</b> 困っていることや生活の希望などについて相談することができ、子ども発達支援計画の作成や調整などを行うサービス	利用(町内) 15 利用(町外) 1 利用なし 8	利用(町内) 13 利用(町外) 1 希望なし 7
	<b>①児童発達支援</b> 未就学児童に対して、実態把握や発達をうながすかわり、保護者の相談などを受けられるサービス	利用(町内) 13 利用(町外) 1 利用なし 12	利用(町内) 10 利用(町外) 1 希望なし 10
通所系	<b>②放課後等デイサービス</b> 就学児童に対して、実態把握や発達をうながすかわり、保護者の相談などを受けられるサービス	利用(町内) 16 利用(町外) 1 利用なし 8	利用(町内) 14 利用(町外) 3 希望なし 6
	<b>③保育所等訪問支援</b> こども園や学校等における集団生活の適応のための専門的な支援を必要とする場合に受けられる訪問サービス	利用(町内) 6 利用(町外) 0 利用なし 15	利用(町内) 6 利用(町外) 1 希望なし 12
地域生活支援事業	<b>①日中一時支援</b> 日常的に介護している家族の一時的な休息時間を確保するため、障がいのある方の日中活動の場を提供するサービス	利用(町内) 0 利用(町外) 0 利用なし 24	利用(町内) 2 利用(町外) 3 希望なし 17

【考察】

3年前の調査では、児童発達支援と放課後等デイサービスは町内事業所（きずな園）の利用だけでしたが、ここ数年町外の事業所を利用する方が数名います。その背景には、事業所の支援内容によって親子が目的利用している状況です。また、日中一時支援ですが、今後利用を希望する方が全体の1割いることがわかりました。

## 相談・情報提供について

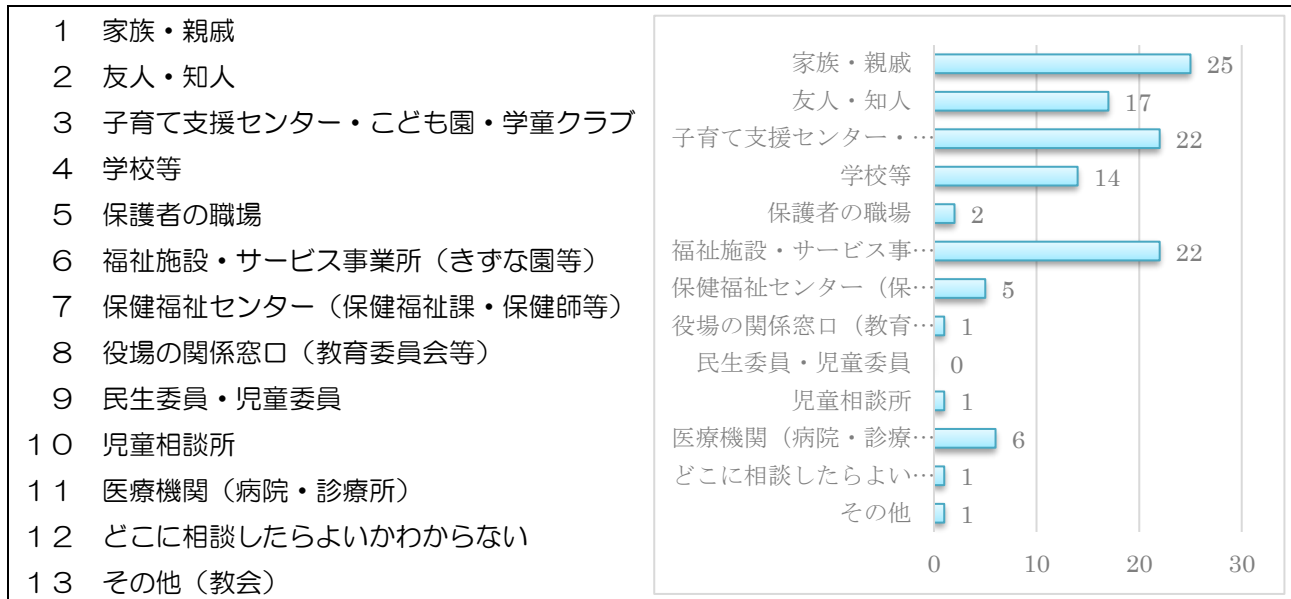
問9 お子さんのことで、現在悩んでいることや相談したいことがありますか。(〇はいくつでも)



### 【考察】

お子さんの勉強や学力、就学や進路のことを心配されている方が半数以上を占めていました。次いでお子さんの健康や治療、こども園や学校等の人間関係や対応に悩みがあるという結果でした。勉強が難しくてわからなくなり、学力低下が人間関係にも影響が出てしまう一因もあるのではないかと考察します。

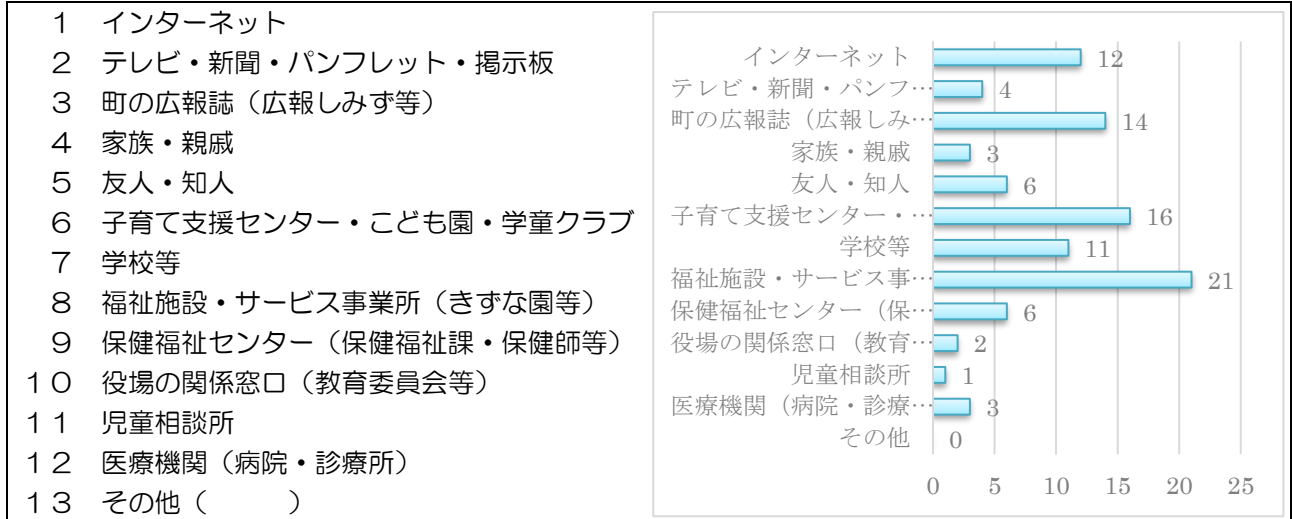
問10 お子さんや保護者が悩んでいることを相談する相手は誰(どこ)ですか。(〇はいくつでも)



### 【考察】

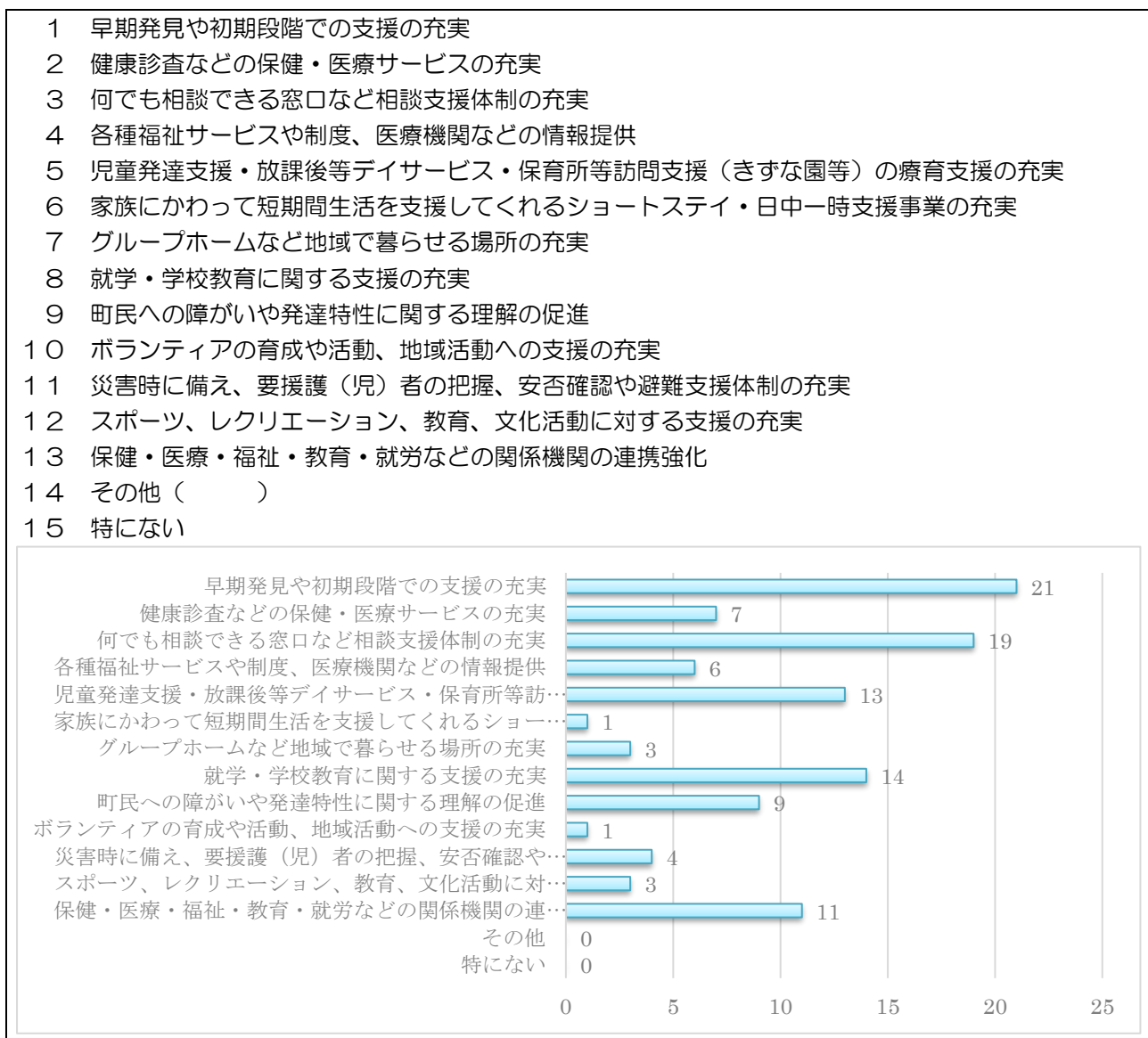
全体の半数近くが家族・親戚、子育て支援課（子育て支援センター・こども園・学童クラブ・きずな園）に相談している結果でした。しかし、少数ですが、どこに相談したらよいかわからないという方もいましたので、相談しやすい窓口への案内や町民への周知は今後もしっかり行っていく必要があります。

問11 福祉制度に関する情報をどのように集めていますか。(〇はいくつでも)



清水町の児童福祉について

問12 障がいや発達に特性のある児童への支援として、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇は5つまで)





【考察】

早期発見や初期段階での支援の充実、何でも相談できる窓口など相談支援体制の充実が上位を占める結果となりました。今後も子どもの障がい（疑いも含む）や発達の特性に保護者と関係（者）機関が気づいた際には、子ども発達支援センター（きずな園）や障がい者相談支援事業所の相談にスムーズにつながるよう連携を図っていきます。

**問13 お子さんが町で暮らすうえで、特に望むことはどのようなことですか。（自由記載）**

- ・ボーイスカウトのような活動があるといいなあと思います。
- ・特別支援学級を担当する教職員の専門的知識と理解に力を入れて欲しい。
- ・体を動かすところがあるといいです。（少年団以外で）
- ・学校以外で他の子と関われる所があると嬉しいです。
- ・フリースクールを作ってほしい。
- ・周りの理解。
- ・町の安心できる環境（子どもたちが外で自由にあそべる）など。
- ・事件や事故に巻き込まれることなく、大きく育ててほしいと思います。
- ・障がい者が将来一人で自立生活が出来るように見守り等、サポートと居住施設の設置。
- ・子が幸せに暮らせたらいよと思います。特別支援学級の先生はそんなことないですが、我が子の様な子供に対しての理解がまだ学校内でできていないと思うことはあります。
- ・町に住所があるだけだと思い暮らしています。町のおまつりの日も分かりませんし、イベントの情報も全く入ってきません。子どもがおまつりに行きたいと話しても日付も分かりませんし、町のおまつりに行ってもいじめられるだけなので行かすこともできません。アンケートも良いと思いますが、親の声を直接聞いてほしい気持ちがあります。
- ・のびのび育てよいい大人になればとりあえずはそれでいいです。あと、いい仕事に就いて長く働いて立派になってくれたら最高です。
- ・地元の学校で障がいに合った教育やサポートが受けられるようになれば良い。

【考察】

学校や少年団以外の場所で活動するところがあれば良いという意見がいくつかありました。現在、きずな園では試行的に年4回ほどクラブ活動を実施しています。今後は参加できる人の範囲、内容や回数等が充実するよう検討していきたいと思います。その他、子どもの発達特性を理解した教育支援（サポート）と学びの環境を整えてほしいという意見もありました。

**問14 清水町の児童福祉サービス等に関して自由に記載してください。**

- ・福祉に関してもっと積極的に発信してほしい。
- ・とてもよくしてもらってありがとうございます。
- ・障がい児の親だけでなく、学校、保育所等、かかわる全ての人から直接今の状況を聞いてみてほしいです。障がいのある人たちにやさしい町になることを願っています。
- ・今のところ困っていません。

【考察】

問11の福祉制度の情報収集にも関係しますが、児童福祉に係る情報は、子育て支援課（子育て支援センター・こども園・学童クラブ・きずな園）、町の広報誌、インターネットで情報を得ている状況でした。積極的な発信を求める意見がありましたので、今後も努力していきます。また、町民の皆様からの児童福祉に係る意見や声に耳を傾け、安心して生活しやすい町になるよう、努めてまいります。